

【表領域へのフラグメンテーション調査】

【フラグメンテーションの回復とスキーマの不要なオブジェクトの領域解放】

【表領域の使用率調査】

表領域に割当てられているデータブロックに、小さなブロック数の隙間が発生していないかフラグメンテーションを確認します。

また、不要になったオブジェクトも開放させることができます

EMDC → [ホーム] タブ → 関連リンク・セクション中の「アドバイザ・セントラル」
→ アドバイザ・セクションの中の「セグメント・アドバイザ」

セグメント・アドバイザ：有効範囲

ステップ 1/4

表領域

スキーマ (ユーザー)・オブジェクト

分析対象を選択します
 をクリックします



セグメント・アドバイザ：表領域

名 前	サイズ(MB)	使用量	使用率
-----	---------	-----	-----

ボタンをクリックし、調査対象の表領域を指定します



表領域：追加

名 前	サイズ(MB)	使用量	使用率
<input checked="" type="checkbox"/> 表領域 1	300	150	50%
<input type="checkbox"/> 表領域 2	300	60	20%

分析の表領域を選択します
 をクリックします



セグメント・アドバイザー：表領域

ステップ 2/4

選択した表領域の一覧

名前	サイズ(MB)	使用量	使用率
表領域 1	300	150	50%

オプション

▼拡張オプションの表示/非表示

分析の時間制限

無制限

制限(秒)

オプションを選択した後、をクリックします



セグメント・アドバイザー：スケジュール

ステップ 3/4

タスク名

スケジュール

スケジュール・タイプ

繰返し

開始

即時

後で

日付/時刻

スケジュールを入力した後、をクリックします



セグメント・アドバイザー：確認

ステップ 4/4

入力した情報のスケジュールが表示される

表示を確認した後、をクリックします

分析結果は、アドバイザー・セントラルの結果に一覧表示されます。

【結果表示画面】

EMDC → [ホーム] タブ → 関連リンク・セクション中の「アドバイザ・セントラル」
[アドバイザ] タブ

アドバイザ・セントラル

[アドバイザ] / [チェッカ]

アドバイザ

アドバイザ・タスク

結果の表示

タスク名 1

タスク名 2

タスク名の名前部分をクリックすると分析結果が表示されます。
タスクが完了していないと、一覧に表示されません



セグメント・アドバイザ推奨

セグメント単位で結果が表示されます。

推奨事項の詳細

表領域 1 **再利用可能領域サイズ**

表領域 2 **再利用可能領域サイズ**

再利用可能領域サイズが、フラグメンテーション（小さなブロック数の隙間）が発生している領域のサイズです。
左側のチェックボックスをチェックして、**推奨事項の詳細** をクリックすると、フラグメンテーションの詳細表示と解放処理が出来ます。



【フラグメンテーションの回復とスキーマの不要なオブジェクトの領域解放】



表領域の推奨事項の詳細

セグメント単位で結果が表示されます。

推奨事項の詳細

- スキーマ1 セグメント1 縮小
- スキーマ1 セグメント2 縮小

縮小 をクリックすると、セグメントのフラグメンテーション解消と不要領域の解放処理をタスクとして実行出来ます。



セグメントの縮小：オプション

実装

- セグメントの圧縮と解放
フラグメンテーションの解消と余分なデータブロックの領域を解放します。
- セグメントの圧縮
フラグメンテーションの解消します

オプション方法を指定して、実装 をクリックすると、タスクがスケジューリングされます。

【表領域の使用率調査】

表領域の現在の使用量と空き容量に関しては、以下の操作で調査できます

EMDC → [サーバー] タブ → 記憶域・セクション中の「表領域」